

# 季節の外遊び 冊子で紹介

## 島根県立大生 自然、遊具「魅力に触れて」



冊子を広げる保育学科2年生たち＝松江市  
浜乃木7丁目、島根県立大松江キャンパス

島根県立大短期大学部（松江市浜乃木7丁目）の保育学科2年生8人が、幼児に外遊びを紹介する冊子を作った。卒業研究の一環。大型遊具を備えた県東部の公園を紹介するほか、「秋||ドングリや虫を探そう」などと季節ごとにミッションを設定し、スタンブラー感覚で外遊びに izazanaう。

（中島諒）

新型コロナウイルスの影響で幼児が自宅にこもりがちになる中、自然の中で体を動かす楽しさを知ってもらおうと昨年6月に作成に着手した。市内の保育園の保護者アンケートも良い、

コロナで外遊びの頻度が減り、家でゲームをして過ごす時間が増えた現状を確かめた上で、公園など身近な遊び場を紹介して運動へ関心を高める狙いを込めた。冊子「さあ、でかけよう！」

しぜんのかなのたいぼっけんはA5サイズの14ページ。ローラー滑り台で遊べる松江北公園（松江市学園南1丁目）や、巨大迷路がある陽だまりの丘（雲南市大東町）、ウサギなどの動物と

触れ合える愛宕山公園（出雲市平田町）など県東部の8施設を取り上げ、特徴を紹介する。ミッションは「冬||たこ揚げをしよう」「夏||転がってみよう」といった20項目を設定。保護者と楽しみながら達成してもらおう作りにした。記載のQRコードを読み込むと、学生が遊具で遊ぶ動画を掲載した写真共有アプリ・インスタグラ

ムへ飛び、外遊びのイメージを膨らませてもらう。リーダーの玉木喜舞さん（19）は「冊子を手にも、身近な公園で外遊びの魅力に触れてもらえればうれしい」

と話した。

配布希望や問い合わせは保育学科体育教育学研究室、電話0852（20）0243。



保育学科  
のInstagram  
はここ

# 資料と動画で研究報告

## 県立大で縁結びフォーラム

県立大の教員や学生が、連携活動を解説。地域政策研究と活動内容を報告する「縁結びフォーラム」が15日、オンライン形式で始まった。浜田、出雲、松江の3キャンパスで計51テーマを取り上げ、資料と動画で成果を伝える。

県や浜田、益田両市との共同研究や企業、地域との

連携活動を解説。地域政策学部（浜田キャンパス）は西藤真一准教授が移住・定住と空港利用者拡大の可能性を論じ、伊藤豊准教授は青年海外協力隊と連携した地域課題の解決を報告している。

看護栄養学部（出雲キャンパス）の籠橋有紀子准教授はイノシシの幼獣の調理加工品を提案し、人間文化学部（松江キャンパス）の内山仁志准教授は、読字困難児の個別指導システムの構築について現状と課題をまとめた。

24日まで視聴、閲覧可能で参加は無料。申し込みは氏名、住所、電話番号、メールアドレスを明記しメールで。問い合わせは県立大連携交流課で、電話0855(25)9063。

（板垣敏郎）

紙面編集・戸谷 隆広